

| 教科名 科目名 | 単位数 | 年次・コース | 選択群 | 教科書・出版社名 | 副教材・出版社名 |
|------------|-----|------------------|-----|------------------|----------|
| 数学 | 2 | 1年・普通科 スタンダード | 必修 | 新編 数学A (数研出版) | 補助教材 |
| 数学A | | | | | |

| | |
|--------------|--|
| 学習目標 | 場合の数と確率、図形の性質、整数の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を養うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにするとともに、それらを的確に活用する力をつける。 |
| 評価の 観点・規準 | 「知識・技能」 ・場合の数や確率及び図形の性質について、基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 ・数学と人間の活動の関係について認識を深めている。 |
| | 「思考・判断・表現」 ・不確実な事象に着目し、事象の起こりやすさを判断する力、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、数理的に考察する力を身に付けている。 |
| | 「主体的に学習に取り組む態度」 ・考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 |
| 評価の方法 | 「知識・技能」 ・目標を踏まえ、定期考査における「知識・技能」に関する問題で評価する。 |
| | 「思考・判断・表現」 ・目標を踏まえ、定期考査における「思考・判断・表現」に関する問題で評価する。 |
| | 「主体的に学習に取り組む態度」 ・副教材の提出状況、設問への取り組み状況、授業への取り組み(発言・発表・発問など)具合などを考慮して総合評価する。 |

| 学期 | 学習計画および内容 |
|------|---|
| 1 学期 | <第1章 場合の数と確率> ・集合の考え方を身に付け、集合を用いて場合の数を求められるようになる。 ・樹形図や和の法則、積の法則といった場合の数における考え方の土台となる思考力を身に付ける。 |
| | <第1章 場合の数と確率> ・順列や円順列、重複順列、組み合わせといった様々な解き方を身に付ける。 ・与えられた問題の文章から、解法を選択できる思考力を養う。 |
| 2 学期 | <第1章 場合の数と確率> ・1学期の既習内容を利用し、確率を考えられるようになる。 ・確率における様々な考え方を学ぶことで、現実の事象で合理的な選択をできるようになる。 |
| | <第2章 図形の性質> ・三角形の性質を学び、多角形を三角形に分けて考える力を身に付ける。 ・空間図形について学び、空間における位置関係や、多面体の性質を理解する。 |
| 3 学期 | <第3章 整数の性質> ・約数と倍数の性質について学び、不定方程式の整数解を求められるようになる。 ・N進法を学び、10進法以外での数の表記の仕方を理解する。 |

| | |
|---------------------------|--|
| 備考 ・履修条件 ・注意事項 等 | |
|---------------------------|--|